

5学年部会の様子

【5学年部会で大切にしたいこと】

自分とのかかわりで捉えること

【視点①】

- ・学習指導要領を読み込む。
- ・教材を選定する。
- ・教師が具体的な願いや意図をもつ。
⇒いずれも子どものみとりをもとにする。

【視点②】

- ①社会的事象との出会いを大切にして、単元を見通す学習問題をつくる。
- ②目指す子どもの姿を踏まえた指導計画と、子どもたちの学びの姿を照らし合わせながら、単元を進める。

【視点③】

- ①考えたことや選択・判断したことを、根拠や理由などを明確にして表現できるようにする。
- ②一人ひとりの考えをみとり、子どもたちの学びを深めるための教師の指導性のあり方を工夫する。

今までの学習と比べ遠い地域の材でありがちだが、自分との関わりで社会的事象を捉えられるようにする。

【グループでの協議】

- ・「自分とのかかわりで捉える」ことは難しいが、人の営みから学ぶことで「○○さんだったら…」と考えられるようになり、かかわりを見いだせるようになるのでは。
- ・みとりを通して子どもの思考を的確に捉え、それに合わせて単元を考えたり、支援の在り方を考えていくことが大切。それが学びの深まりにもつながっていく。

【担当校長先生より】

- ・学習内容が広範囲になる中で、自分事として考えられるようにしていくために工夫することが5年生では大切。時には使わない勇気も必要である。
- ・自分とのかかわりは目的でなく手段である。
- ・学びの深まりの姿はアプローチが先生方によって違う。だからこそ、みんなで考え続けることが大切。